

平成30年度 熊本大学・崇城大学 特別講義

「組み込みシステム関連産業概論」 のご案内（Part1）

どなたでも受講できます

定員200名
参加無料

熊本県社会・システムITコンソーシアムでは、熊本大学・崇城大学のご協力により、IoT(Internet of Things)/CPS(Cyber Physical System)の進展と共に大きな成長が見込まれる「組み込みシステム関連産業」の各分野においてご活躍の技術者を講師として招聘し、それぞれの分野における最新技術動向や産業構造・ビジョンについて講義を実施します。

具体的には、情報通信・エレクトロニクス、半導体製造装置、自動車（オートモーティブ）、医工連携（ヘルスケア）、エネルギー・社会インフラ、ITサービスの各産業分野の主要10社の研究者・技術者から各90分ずつ、①当該産業及び企業の概要、②当該企業が手がける組み込みシステム関連製品（ハードウェア、ソフトウェア、サービスなど）の概要、③当該企業が開発する組み込みシステム関連製品の代表例、④当該組み込みシステム関連製品の技術的特徴、⑤当該組み込みシステム関連製品の開発体制などについて、講義を行います。

多数の皆さまの聴講をお待ちしております。

	日程	会場
Part1	6月11日(月) 10:20-17:55	熊本大学 「工学部百周年記念館」 (熊本市中央区黒髪2丁目39-1)

主催 国立大学法人 熊本大学、 学校法人君が淵学園 崇城大学

共催 熊本県社会・システムITコンソーシアム

後援 くまもと技術革新・融合研究会(RIST)、 熊本地方COC+推進協議会

申込方法 別紙「受講申込書」を、熊本県社会・システムITコンソーシアム事務局へご送付ください。

■特別講義に関するお問い合わせ

- ・熊本大学 工学部
情報電気工学科 末吉敏則 教授
(TEL) 096-342-3629
- ・崇城大学 情報学部
情報学科 西 宏之 教授
(TEL) 096-326-3659

■受講申込に関するお問合せ

熊本県社会・システムITコンソーシアム 事務局
(一社)熊本県工業連合会内 担当：田口
TEL) 096-285-8131 <http://www.es-kumamoto.jp/>
FAX) 096-214-2030 taguchi@kenkoren.gr.jp

平成30年度 熊本大学 特別講義 「組みみシステム関連産業概論」 - プログラム - (Part1)

講義番号	6月11日(月)	講義番号	6月11日(月)
	10:20-10:25【開講挨拶】 熊本大学工学部 情報電気工学科 末吉敏則 教授		
①	10:25-11:55 オムロン 株式会社 技術・知財本部 技術専門職 中嶋 宏 氏 『デジタルヘルスケア-ICTを活用した健康管理』 家庭を中心とした日常生活にて計測した血圧などの生体情報や歩数などの行動情報を、個人の健康管理および医療現場で活用することが重要視されている。このように計測・蓄積された情報によって、生活習慣改善および疾病予防・治療を適切に支援することが期待されるからである。本講演では、生体計測機器の開発事例、およびICT（情報通信技術）を活用した生体情報および生活習慣に関わる行動情報の収集と解析事例について述べる。	③	14:40-16:10 日産自動車 株式会社 パワートレイン・EV技術開発本部 パワートレイン・EVコンポーネント開発部 主担 関 永俊 氏 『電動パワートレインシステムの適用事例』 日産自動車は、クルマと人々の体験をよりワクワクするものにしていくため、クルマの「電動化」と「知能化」を推進しています。「電動化」にはL E A Fを代表するB(Battery) E Vだけでなく、H E Vやe - P o w e rなど複数のシステムが適用されています。本講演では、商品化した電動パワートレイン技術を中心に、開発の背景やシステムの構成・特徴などについてご紹介します。
②	12:55-14:25 マツダ株式会社 統合制御システム開発本部 電子基盤開発部 主幹 小嶋 浩一 氏 『アクティブセーフティを支えるセンシング技術と制御技術』 クルマにおける安全を考察、マツダの安全思想を述べたのち、マツダのアクティブセーフティの商品化状況、および商品システムを構成するセンシング技術と制御技術、またシステム開発の課題と今後の開発の在り方を紹介する。さらにクルマの価値を再認識した上で、マツダの考える自動運転技術についても紹介する。	④	16:25-17:55 ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 執行役員 IS/DD Group担当 慶児 幸秀 氏 『イメージセンサ概論』 ソニーがこれまで取り組んできたイメージセンサの開発と製造の歴史、基本となる半導体製造プロセス、高画質化するイメージセンサとそれを利用したカメラの絵作りに関する概論を説明する中で、半導体製造設備でのIT化、信号処理アルゴリズムの進化について紹介します。

「組みみシステム関連産業概論」
- 会場（熊本大学）へのアクセス -

駐車場は数に限りがありますので、公共交通機関を御利用ください。

【JR熊本駅から】

市営バス：第1環状線（大学病院・大江渡鹿経由）「子飼橋」下車徒歩10分

産交バス：楠団地、武蔵ヶ丘行き等
「熊本大学前」下車

【JR上熊本駅から】

市営バス：第1環状線（子飼橋経由）
「子飼橋」下車徒歩10分

【熊本空港から】

空港リムジンバス熊本駅行き
「通町筋」下車、「水道町」から産交バスで
地、武蔵ヶ丘、大津行き等「熊本大学前」下

【交通センターから】

産交バス：楠団地、武蔵ヶ丘、大津行き等
「熊本大学前」下車

【JR竜田口駅】

産交バス：交通センター行き
「熊本大学前」下車

